

環境・リサイクル

豊通リサイクル

使用済み車の全部再資源化

15年度 43事業所に優秀賞

豊通リサイクル(本社・愛知県名古屋、社長・小松原充氏)はこのほど、T.H.チームが委託する使用済み自動車の全部再資源化に関して2015年度の再資源化実績に基づき、順位賞として上位30事業所、優秀賞として43事業所を表彰した。表彰された事業所は別表の通り。また、T.H.チームによる15年度の全部再資源化台数は11万1596台と前年度比9%(9209台)増加。10年度以来5年ぶりに11万台となった。15年度の全部利用率も7.2%と前年度比0.9%上昇。09年度以来6年ぶりに7%台を回復した。12年度から増加に転じた全部再資源化台数は、その後も電炉メーカーなどの新規参入が寄与して増加傾向を維持している。

経済性にも優れた取り組みとされる。

T.H.チーム 5年ぶり11万台回復

同表彰制度は、自動車破砕残さであるA.S.R.を発生させない自動車再資源化とは、解体業者(全部再資源化事業者)で銅を含むワイヤーハーネスやモーター類を除去するなど精進に解体した後、プレス業者(破砕前処理業者)でプレス加工したものを、電炉や高炉メーカ(直接全部利用)で製鋼原料として再利用されるほか、シートや内装材の廃プラスチックは燃料代替、ガラス等はスラグとして路盤材に活用される。A.S.R.を発生させず、廃車をほぼ100%リサイクルできるため、

15年度(15年4月〜16年3月)の実績台数に基づき、順位賞は台数の多い上位30事業所に10位以内、20位以内、30位以内の3種類で表彰を行った。

優秀賞は年120台以上の安定的な出荷がある事業所を対象とし、T.H.チームが定め

2015年度 表彰事業所一覧

Table with columns for award type (順位賞, 優秀賞), company name, and prefecture. Includes entries like 大越工業 (福島県), 東日本資源リサイクル (千葉県), etc.

※順位賞は3種類の区分で都道府県別に記載

ARTの全部再資源化

15年度 6%増の7万7695台

自動車破砕残さリサイクル促進チーム(A.R.T.)による2015年度比6.2%(451台)は5.1%で同0.6%増となった。前年度以来6

た基準値を達成した事業所に贈られた。表彰事業所はチームの定期レビュー(受入拒否)がないこと、法令遵守が年ぶりに5%台を回復した。ARTは自動車リサイクル法により、再利用が義務付けられる特定再資源化物品のうち、シュレッダース(自動車破砕残さ)の適正、円滑なリサイクルを推進する目的で構築されたチーム。い

す自動車、自動車リサイクル促進センター、ジャガー・ランド